

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	株式会社 名鉄百貨店
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目2番1号
工場等の名称	株式会社 名鉄百貨店 旧ヤング館・駐車場
工場等の所在地	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目2番5号
業種	卸売業、小売業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	物品販売及び駐車場、事務所
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	～		
公表方法		揭示 閲覧	（場所）
	○	ホームページ	（HPアドレス） www.e-meitetsu.com/mds/company/06.html
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-585-2571		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

環境方針：

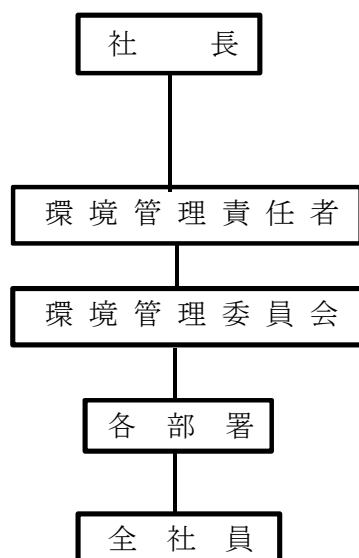
名鉄百貨店は、お客さまの「感動」と「よろこび」を共有します。
自然を尊び、社会の絆を尊び、人の心を大切に思い、環境を良くする活動に努めます。
お客さまの出会いの場としてふさわしい、地域にやさしいお店であり続けます。

- 1) 私たちは、エネルギーや資源を無駄に使用しないお店であり続けます。
- 2) 私たちは、リユースやリサイクルできるサービスを提供します。
- 3) 私たちは、簡易包装をすすめ、ごみの少ない社会に貢献します。
- 4) 私たちは、お客さまにとって、環境にやさしいライフスタイルを提案します。
- 5) 私たちは、守るべき法令やお約束したことを確実に守ります。

これらの活動を通じて、環境パフォーマンスを継続的に改善し、地球温暖化の防止や、環境汚染の予防に努めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		288	t-CO ₂
（温室効果ガス除く炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		288	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	0.00532	t-CO ₂ / 千㎡×h	0.00516	t-CO ₂ / 千㎡×h	0.005023	t-CO ₂ / 千㎡×h		t-CO ₂ / 千㎡×h
削減率（対 基準年度）			3.0	%	5.6	%		%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / 千㎡×h		t-CO ₂ / 千㎡×h
削減率（対 基準年度）						%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

基準年度をコロナ禍まへの2019年度実績としたが、コロナ禍の規制緩和により、営業時間は、増加したが、従業員の省エネ意識向上により使用量も減少しているため、5.6%の減少になったと推測される・

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動	事務所等の後方冷房・暖房施設の適切な温度設定をする。	冷房時：28℃ 暖房時：20℃に設定を実施。	冷房時：28℃、暖房時20℃に設定した。但し外気の影響を受けやすい地下1階、1階は、設定を上下した。
省エネルギー・省資源の行動	・照明器具更新時は、LED化を進める。 ・従業員等の後方照明は、使用時以外は、消灯又、休憩室等の自動販売機は、LEDタイプを使用。	改装工事及び器具不良時は、LED化を進め実施する。	改装工事及び照明器具不良時は、LED化を進めた。
省エネルギー・省資源の行動	・パソコン、コピー機は、昼休み・休憩時間帯及び離席時は、電源オフを徹底する。	各担当部署にて実施する。	各担当部署にて実施した。
破棄物の排出の抑制	・不要書類を利用し両面コピーを実施し、コピー用紙の削減を実施。	各担当部署にて実施又商品の包装は、簡易包装を実施する。	各担当部署にて実施。又商品の包装は、簡易包装を実施した。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

毎週木曜日を会社全体でノー残業デーを設定し実施。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

全従業員対象に環境保全に関する店内放送、後方部に貼り紙等を実施
